

様式第3号(第7条関係)

会 議 録

1 附属機関の会議の名称 水戸市鯉淵市民センター運営審議会

2 開催日時 令和6年6月 17 日(月) 午後1時 30 分から午後2時 50 分まで

3 開催場所 水戸市鯉淵市民センター 会議室

4 出席した者の氏名

(1)委 員 林 一男, 立原 美津子, 立川 力, 藤枝 みち, 伊藤 とよ子, 濱谷 一正

(2)執行機関 青山 和夫, 豊田 けい子, 青柳 由美

(3)そ の 他

5 議題及び公開・非公開の別

(1)令和5年度利用状況について(公開)

(2)令和6年度事業計画について(公開)

(3)その他(公開)

6 非公開の理由

7 傍聴人の数(公開した場合に限る。) 0人

8 会議資料の名称 令和6年度第1回水戸市鯉淵市民センター運営審議会

9 発言の内容

執行機関 こんにちは。皆様には、大変御多用のところ市民センター運営審議会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、令和6年度第1回水戸市鯉淵市民センター運営審議会を開会いたします。

運営審議会の委員の皆様は、それぞれ御存知の方が多いかと思いますが、新たに委員になられた方もいらっしゃると思いますので、自己紹介をお願いしたいと思います。自己紹介は____会長の方から反時計回りでよろしく願いいたします。

(自己紹介)

ありがとうございました。

次に事務局側の自己紹介をさせていただきます。(事務局自己紹介)

続きまして、____会長より御挨拶をいただきたいと思います。

____会長よりお願いいたします。

(____会長挨拶)

執行機関 本日の会議は、「水戸市附属機関の会議の公開に関する規定」に基づきまして、公開といたしております。事前に会議開催についてホームページ等でお知らせしておりましたが、傍聴人は本日はおりませんので、御報告いたします。

会議の議長につきましては、市民センター条例第12条第1項に「審議会は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。」と定めておりますので、これより会長に議長をお願いしたいと思います。会長よりお願いいたします。

議長 それでは、暫時、議長を務めさせていただきます。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

(会議成立)

議長 本日の会議につきましては、委員6名中6名が出席しており、水戸市市民センター条例第12条第2項の規定に基づき、委員の半数以上が出席しているため、成立していることを御報告いたします。

(議事録署名人選出)

議長 次に、議事録署名人の選出を行います。
議長の指名でよろしいでしょうか。

委員 (「異議なし」との声)

議長 異議なしとのことですので、議事録署名人は____委員と____委員の二人にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。本日の会議終了後、事務局で作成した議事録に、後日、御署名をお願いいたします。

(協議)

議長 それでは、協議に入ります。
まず、(1)の令和5年度利用状況について、事務局の説明をお願いします。

執行機関 ((1)令和5年度利用状況について説明)

議長 ありがとうございます。ただいまの説明について、委員の皆様からの質疑を求めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

議長 よろしいでしょうか。

委員 (昨年度の)展示会は成功みたいなのですが、感想はどうですか。

執行機関 昨年度は一昨年度と比べまして、鯉淵小学校、児童の作品展示と地区にチラシを配布させていただいたという点が、違ってございまして、小学校の先生方にも「市民

センターに作品がでているよ。」と児童に宣伝していただいた結果、多くの御父兄の方に市民センターを訪れていただきました。また、土・日曜日も開館していることで、この間、御家族の方に市民センターまで足を運んでいただきましたので、良かったのかなと思います。今年も小学校の御協力を得て、地域の方が気軽に立ち寄っていただけるような展示会ができれば良いと思っています。

議 長

はい。ありがとうございます。

私の方から一つ参考にお聞きしたいのですけれども、利用団体登録の数が 46 ありましたが、そのうち鯉淵地区内の団体は何団体くらいあったのですか。

執行機関

令和5年度ですと、46 団体中 19 団体が鯉淵地区内の団体でして、4割強が地元の団体に利用していただいている状況です。

議 長

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

なければ、(1)の報告について、承認することとしてよろしいでしょうか。

委 員

(「異議なし」との声)

議 長

異議なしと認め、(1)の報告について、承認いたします。

次に、(2)令和6年度事業計画について、事務局の説明をお願いします。

((2)令和6年度事業計画について説明)

執行機関

はい。ありがとうございました。

議 長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様からの質疑を求めたいと思います。よろしくお願いします。

委 員

重点目標と事業計画との関係でなかなか難しいところがありまして、一つは重点目標の中の地域活性化という問題です。町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るというのが、市民センターとしての中心的な課題の一つだと思うのですが、町内会・自治会と言われるコミュニティの中に子どもをどう参加していくのかが一番の大きな課題のような気がします。小学校も中学校も自主的なボランティアとして幾分直接参加という形はありますが、そういう形ではなくて、地域の自治会が子どもをどう参加させていくのかという具体的な問題。子ども会も無くなる時代ですから、鯉淵地区も無くなるし、どうすれば良いかを市民センターを中心とした取組で何かができないかなと思います。そのためには地域コミュニティの防災の問題と、それから市民ニーズを捉えた学習機会の提供ということで、現代的課題を取り扱ったなんかを絡めて具体的に何かないかなと思います。

というのは、一つは現代的課題の問題だと、今小学校では新しい課題に対しての先生たちの「慣れ」というと怒られるのかな。不登校が急増しているという問題。これは学校教育の中で専門に勉強した先生が少ない。少ないと言うと怒られるかもしれないけど、やっと文科省が中心になって大学院まで入れた6年間教育の中で、ケア問題、不登校とか貧困の問題を含めてのケア問題を授業の中に取り入れた教育課程を設けるとなっているし、そういうのを合わせながら小学校と市民センターと自治会が連携しながら、小学生・中学生を地域の活動の中に取り入れて、自

分たちはこれから必要とされるという自己意識を育てる環境を作り上げることが必要です。

それからもう一つは、地域のコミュニティで ICT を取り上げたらどうかと提案されているわけですが、今学校教育・義務教育課程の中でも ICT を取り上げて、水戸市は ICT 教育では小学校中学校の教育課程の中で、全国的に表彰されている。優秀ですよ、実は。そういう事は地域の人は意外と知らないし、そういうことを合わせて地域の方と地域のコミュニティを活性化させるために学校教育の ICT の活用とかを模索した方がいいのかなというのが一つの提案です。

それから環境問題と防災問題については、ほとんど触れられていないような気がする。この前、防災に係る説明会があって、鯉淵地区の水害についての地図が発行されるということで、洪水浸水想定区域図がやっと出来上がった。その他については、これからの課題となっていくのですが、子どもたちに徹底させる必要があると思います。自治会に集まっている人は、もうかなり高齢者で、子育てが終わった次の世代からの人が大変ですよ。防災を含めて社会教育の中では個別にやっています。社会福祉協議会でも個別の防災対策で、ボランティアで救護活動や炊き出し研修みたいなものを行っているのですが、そういうのを地域コミュニティの中に活かすには、どうしたらよいか。市民センターに物資が置いてある。地図作りを自治会が中心にやっているが、実際にボランティアの訓練をしている人、米をどうやって炊いたらいいのか、救護をどうやったらいいのか、それぞれが結びつかない状況にあるので、市民センターや学校を中心にして訓練をすると効果がより上がると思います。子どもたちの避難訓練というのは、子どもたちだけでやっている場合が多いですね。そういうのが課題としてあると思うのですが、この中にはあまり書いていないような気がしますね。そういうことが議題の導入になればと思います。

議長

ありがとうございます。

この件につきましては、市民センターだけでできる問題と我々自治会・住民の会、それから学校と連帯しないとできないことがあります。一つは自治会の加入率が一番ネックになっています。鯉淵地区の場合は、世帯数約 1,600 世帯で、その内自治会に加入しているのが約 1,300 世帯で、加入率が約 80%です。これは水戸地区全体でいうと一番加入率が高いです。水戸市全体としては 50%割るかどうかというところまで低下していて、中心部の方は 50%を下回っている状態になっている。水戸市全体でみても 55%位です。内原とか妻里あたりでも 60%台なので、鯉淵は突出して高い。でも現実はどうでも、毎年毎年加入率が落ちている。その原因の一つは高齢化による独居老人が多くなっていて、自治会に入っても活動には参加できないという環境の変化です。こういう事は、どこの地区もそうですが、一番ひどいのは水戸市中心部の人たちで、最初から自治会にはメリットがないから入りません。ただし、いざ防犯灯問題とか、ごみの問題とか、これはみんな自治会に入っていない人もお世話になっています。本当は(自治会に)入っていないとごみは出してはいけないことになっていますけど、黙認して出している人もいます。

入っていない人は手を挙げれば(ごみが出れば)市の人を取りに来てごみを回収してくれていますけどね。自治会に入っていると大変ですけど、やっぱり恩恵もありますね。その辺の認知度というか、みなさん、いろいろな考え方をもつ方がいて、入らない・抜けるという方が後を絶たない。これが現実ですね。

それが広がっていくと子どもたちのところも同じようになっている。どこの地区も子どもが減っている。わたしの地区でも子どもがどんどん減ってきて、自治会で常会費を集めていますけど、その中で子ども会へのお金をドーンと補助金として出したりすると、もう子どもはいないからどうなんだろうと考えている方もいる。行事をやるうとしても、参加する人がいない。うちは子どもがいないから、あるいは親と一緒に住んでいない、親は共働きで昼間いないので子どもだけで参加できない、など参加募集しているのになかなか集まらない。これが今の子ども会が運営していけない状況ですね。こういうことをみんな絡めて一つだけやれば大丈夫というものはない。非常に難しい問題で、鯉淵地区住民の会・市民センター・学校の立場としてそれぞれ持ち寄って意見を出していかないと、この問題は解決できない大変な課題ですね。これからますます子どもたちの行き場が本当になくなってしまいう。住民の会でもできることは限られている。住民の会を運営・構成している一番のキーパーソンである自治会長さんは、26 人いますけれど、皆さん1年交代か2年交代で役員が変わっていく。持ち回りみたいになっていて、なかなか継続してそれを引き継いでやってくれない。だからと言ってできない理由にはならないですけど、そこには私たちが中心となって皆さんに声をかけて、色々なことに子どもたちを出して、地域でまとまって何かをやろうと、こういうことをやり続けていかなくてはと思っています。

委員 何かをやり続けるということで去年センター長が中心となって地区会・鯉淵小学校と連携が取れる場を設けた機会がありましたよね。結構鯉淵小学校を応援するために良い傾向になったと思います。

それから、去年の市民運動会は結構子どもたちが多かったですよ。ああいうイベント的なものを合わせながら、日常的な取組として市民センター・小学校・自治会を中心としたコミュニティの再構築ができると思います。

議長 その他に鯉淵地区住民の会では防火・防災・防犯、特に防犯パトロール隊として安全協会を中心として、24 名から25 名の隊員がいますけれど、毎週1回は鯉淵地区の子どもたちが下校する時間に2時間、青パトでパトロールをしています。それから交通安全協会の方は、隊員 15 名いますが、小学校の立哨とか、水戸市内全体でパトロールをしたり、祭りの時には交通整理をしたり、こういうことを一年間通して、やっています。それと鯉淵小学校見守り隊といって、今約 60 人の隊員の方がいますが、教頭先生が中心となって各地区で子どもを学校まで送り届けるまで、朝晩、特に朝、鯉淵地区の各場所で、住民の方が協力してボランティアでやっています。

それにもう一つ、防災の話がでましたけど、鯉淵地区で女性防火クラブを立ち

上げる準備をしております。今水戸市全体では、約 7,500 人の女性防火クラブの会員の方がおられます。水戸市消防局の方で何としても、鯉淵地区で作って欲しいと。何故かと言うと、____委員が仰ってくれたように、いざ災害があった時に炊き出しにしても、何にしてもそれをすぐ動かせる団体がありません。鯉淵地区は消防団が3つあって約 60 人の隊員の方が火を消してくれるけれど、いざ火災や大地震が発生した時、このセンターが避難所になるわけですから、小学校もそうですけど、その時に手を挙げて誰かがお手伝いをして、炊き出しのお手伝いできる組織が水戸市全体で鯉淵地区だけがない。それでそういう組織を今年の 10 月 1 日をめに立ち上げをしたいということで準備を進めています。鯉淵 1,300 世帯あるわけですから、各世帯で皆さんそれぞれ出てくれれば 1,000 人近い人が会員になっていただけますけれど、なかなかそうはできないので、まず協力していただけるという方に手を挙げていただく。こうすることで、今月の 30 日に鯉淵地区の自治会長さん 26 名に集まっていただいて、各自治会内に連絡していただいて募集をしていただくということが土曜日に決まりました。会員の方は、会費がかかるわけでもないし、色々な行事に強制的に参加することではなくて、家庭から火を出さない。こういう活動をしていただくという観点で会員になっていただくということです。水戸市消防局で来年度から関係予算を用意していただきます。水戸市の色々な行事については、役員の方が出席しますので、防火クラブの一般会員の方に出ていただくということがないような仕組みになっております。会員の方も役員の方も周りに声をかけていただいて、一人でも多くの方に女性防火クラブのメンバーになっていただければ有難いです。そうすることで鯉淵地区住民の会はできてまだ 6 年目で、いろいろな組織がまだないので、これで立ち上げができれば鯉淵地区の大きな組織の一つになると思います。

執行機関

____委員が仰った連携した防災訓練の状況でございますが、毎年、市民センターの防災訓練の一つとして、災害時の指定職員がこちらに来て、給水タンクの組み立て訓練をする際に、地区会役員の方々にも来ていただいて一緒に訓練をやっていただいております。また、小学校の方でも 1 月か 2 月に防災訓練を行っているかと思いますが、その時にも地区会の方に出席していただいております。そういった連携した訓練をさらに充実させていくことが重要だと思っております。また、先程議長の仰ったとおり、女性防火クラブ等ができれば、将来、総合的な防災訓練も行うことができるのかなと思います。今後の一つの課題として捉えております。

議長

課題の一つの防災訓練は、今年は、那珂川沿いの地区において全地区で出動して一斉防災訓練として行われます。但し、鯉淵地区は声がかかりませんでした。というのも、差し迫って危ないのは那珂川沿いの地区とのことで、防災訓練と避難訓練を合わせてやります。鯉淵地区もいずれはやらなくてはならないけど、それは市の方から指定がくると思います。市もそのように考えています。先程浸水マップの話が出ましたが、浸水マップは例えば下野や高田、倉田のそういうところの地区では市の方で、直接それぞれの地区で説明会を行うという予定は聞いてお

ります。

委員
議長

鯉淵地区は安全だと思っているんだ。

ところが、60年前に鯉淵小学校下側の川が氾濫して1週間位学校に行けなかったということがありました。現実には氾濫の危険がある。深谷商店から鯉淵小学校の辺りまで全部川みたいになって、それで保育園がそこに作れなくなった。それは私が小学校の時でしたから、また起こりかねない。今の集中豪雨やゲリラ豪雨はいつ起こるか分からない。去年の暮にも上流の方の犬塚周辺は一部冠水しました。それ以上はひどくならなかったですけど、またそういうことが突然起こることも予想されますので、その時には小学生たちはもう学校に来られなくなってしまう。

委員
議長
委員

防災マップ関係では、なんで鯉淵地区が安全だと言われたのか分からない。

当初、涸沼川は指定されなかったですね。もうそれは60年前の話ですから。

2011年の地震の時に橋がかなりダメになりましたよね。鯉淵の下野の水戸橋のところはやっと去年工事が終わったみたいです。地震対策工事がね。その前後の橋は、対策がとられていなので、ダメージがあったら橋が全部落ちることもある。

それから、高速道路を横断する橋のつなぎ目のところはかなり陥没していて、応急処置をやりましたけど、あれはもっとひどくなる可能性もある。集落が孤立する可能性がありますよね。橋がだめになる、道がだめになる。それから最近ではマスコミで取り上げられていますけど、都市部の局地的な冠水。水道管が使えなくなったり、最近、取手が有名になりましたよね。川がない所とか、そういう所で起きやすい。

前に内原出張所のところが冠水してひどかった時期があったという話を聞いて、その状況は全然分かりませんが、そんなに水が溜まる地域じゃないと思うけれど、実は浸水してしまう。凹凸のあるくぼみのところに水が集中すると、地震の影響などで下水管が詰まって浸水してしまう。そういうところまで含めての防災マップが必要だと思いますよね。浸水マップとか河川マップとかさ。そういう説明がないので鯉淵地区はちょっと危ないと思いますよね。

委員
議長
委員
議長
委員
議長
委員
議長
委員

犬塚地区の方で、大変な状況があったんですか。

去年もありました。

そうですか。その話は分かりませんでした。

そうでしたか。

前の大変な状態は治まったという話しか知らないのです。

氾濫はしなかったですけど、それに近いほど水が上がったということです。

そうですか。

あの辺は上流から来た影響ですよ。南友部の向こうから流れてきますよね。

笠間地区から涸沼川までの工事は去年ほぼ完了したという話は聞いたことがあります。ようするに両側のところを削ったりとか草を刈ったりとか橋を直したりとか、やったという話だが、ところどころ全然やってないようにも見える。

議長

もう一つは桜川が氾濫しやすいのも問題だと思います。赤尾関とかイオンの東側あたりはみんな水浸しになりますよ。それが千波湖に向かっている桜川で、そこ

の方がもっと氾濫の危険度は高い。鯉淵地区の後原地区も含めてもう2～3年前から浸水想定区域に指定されています。

委員 さっき女性防火クラブの話が出ましたが、だいぶ盛り上がってきましたよね。その話を他の地区ではどうなのかなと思って、千波とかの知人に聞いてみました。そして、女性会というのがありますよね。そういうのが前からあって、結局なんとなくあるから、そのまま横滑りして女性防火クラブに入っているよっていうのを聞いたので、なるほどと思いました。そういうところがあると作りやすいけれど、何もない所は大変ですよ。

議長 鯉淵地区では女性会等は、ありませんが、あるところはあるところで不満があって、そっくり横滑りで同じ仕事をしているわけでしょう。組織ばかり作ってどうするんだという話がある。

委員 そういうことですね。

議長 だって、役員になっている人は組織が2つになったら両方出るようになります。

それで、やることといえば、水戸市の第7次総合計画の中に組み込まれているけど、事の関連性があまりないという不満がある。

委員 ここの市民センターができるまで婦人部はありましたけど、いざここができて婦人部は関係なかったのが解散しました。

委員 解散というのはどういう。

委員 やる方がいなくなって、今までの人は高齢になって、しかも若い人は仕事が忙しくて。

委員 というより若い人があまりいません。建物(家)はそのまま残っているけど、若い人はよそへ行ってしまっていて、ここにはおじいさんとおばあさんだけ。婦人部はありましたけど、ここの市民センターが建設されても婦人部という話はでなかったです。解散したのは、最近です。

議長 確かにね。状況によっては、お互いの隣同士の助け合いがないといけない。何としても女性防火クラブというものがいいのだなと。

委員 その炊き出しボランティアなどのために婦人部に対して要望があると思っていました。そうしたらそういう声が全然かからなかったの。

委員 自治会では把握していないですよ。婦人部がどこにあるのか、何人いるのか。

議長 それは把握していないです。婦人部が残っているのは。

委員 水戸市と合併する以前、播田実区では、集落センターに運営委員会と婦人部会というのがあって、町内で横のつながりがあり、持ち回りで毎年研修をしていました。広域でも研修会があって、水戸地区とか色々なところに行きました。県外のほとんどの地区にも行くくらいに。市民センターが建設された時に作ってくれたら良かったですね。でも、もうやりたくないものだから、水戸市のセンターでは必要ないみたいだから解散したようです。

委員 この青少年育成会の方でも、内原町の時は南部地区委員会といって、独立して

存在していた。その南部地区委員会の青少年相談員と自治会、当時は区長と言っていましたけど、婦人部とはかなり密接な関係があって、何かの行事の時に婦人部と子ども会が中心になって料理を作ったり、お祭りをやったりとか運動会とかね。それが何故か水戸市と合併して、新しい自治会が発足したりして消えていくんですよ。そういう関係がね。区長会というものがあり、鯉淵地区の区長さんも参加していましたが、地区の人の参加はありませんでした。それぞれの地域ごとに南部地区とか内原地区とかそういう所で頑張っていましたね。いつの間にかその枠組みが消えてしまった。

委員 婦人部の方から一番苦情が多かったのは、「どうして丸投げでやらされてばかりいるのか」ということでした。

委員 でも、子ども会がなくなりますよね。子ども会は、市子連に入っていないと、かるた大会などに出られない。そういうことがあって子ども会に入っていましたけれど、とうとうそれも、子どもがいなくなったし、「うちはいいわ」という家が増えてきたみたいです。

委員 子ども会がなくなる一つの原因としては、登校班とか学校との絡みで色々な問題もあるけど、学校の中で子ども会に入っている子どもと入っていない子どもの差が分からないと、なくてもいいってことですよね。校長会に意見聴取したほとんどの校長先生がそんな感じだったね。当時校長会に意見聴取したけど、問題というのは校内暴力でも見えない暴力がたくさんあった。特に休み時間。子どもたち同士で遊んでいて暴力事件になってしまう。ところが監視する先生がいないという問題があって、アンケートをやりましたが、その時に出了た話の中で、子ども会に入っている子どもと入っていない子どものどこに差があるのかという話になって、差は全くない、分からないという感じだったね。だから、子ども会育成会に入っている親・保護者の目標がどんどんなくなっている。

議長 子ども会育成会の会費は自治会常会に入っている人が払っている。子ども会育成会として行事をやる時に、「あなたは親が常会に入っていないから参加できませんよ。」となって、入っていない子は出にくいよね。それが現実になっている。鯉淵・内原地区は 80% 近くの人が入っているからまだ少ないけど、他の地区の 50% 以下のところは、「その人たちは、お金払わないけど参加だけできるの」という問題があちこちで起こっている。

委員 いろいろな経過を経て今に至っているわけだけど、去年、センター長を中心に地区会と小学校とで「自由に気さくに話し合える場を設けましょう。」ということで少し動き出しましたよね。小学校では少しメリットがあったと思います。小学校では協力・援助いただく人に声をかける時、市民センターや地区会に直接いつでも話ができるような場ができた。そういうことがきっかけに横の繋がりを上手く作られると良いと思います。

防災関係でも、ボランティア研修を市全体でやっていて、鯉淵地区の社会福祉協議会からも代表を出してボランティアの研修を受けている。ボランティアって素

人じゃできないですよ。それぞれのプロがいないと。食事を作るのだって何でも作って食べさせればいっていいわけにはいかないですよ。細かくいうと、ケア問題を含んでいて、食べられない問題とかマナー問題とか、食べることだけでもいろんなことが出てくるからね。だから研修をやっていかないと、いざ何かあった時に上手く機能しない。

委員 ボランティア研修は自治会も一緒ですよ。現在もいろいろな団体が研修を受けている。その繋がりが地域でないことが問題です。

委員 大事ですよ。

委員 そこが問題だよ。せっかくやっているのに。

議長 避難所運営の研修会とか自分も毎回出ている。

委員 だから、それぞれの組織内でやっているだけで、せっかくやっているのに地域に還元ができてない。社会福祉協議会の中でやっている人もいるし、自治会の中でやっている人もいるし、他のところでもやっている可能性もあるよね。そういう交流が市民センターを中心として構築できれば、小学校も含めたコミュニティの再構築ができる気がするね。

小さな組織の頃は割とできたよね。ここは鯉淵地区って言わないで南部地区って言っていたけど。

議長 市の防災課にしても、市全体を同じような、どこの地区も同じように動いて欲しいということで、それぞれの地区がそれぞれ自由にやるのではなくて、市の方が旗を挙げているのでそこに参加してもらって、いろんなところから人を集めてやるというふうに変ってきてはいる。将来的な課題として、人を育てないといざという時に動かせませんから。

執行機関 防災に関しては、御意見のとおり連携を図っていくことが重要なので、資器材等を充実させながら、ソフト面では、学校の子どもたちを含め、横の連携で防災訓練等を充実させていくことが必要だと考えています。

委員 小学校を助ける「鯉淵小学校応援団」。応援団みたいな話し合う場を設ける。いつでもどこから手を挙げれば話を聞いてくれる場所があるというところから始めた方が良くと思う。

議長 その話はまさにセンター長を中心として小学校・住民の会それぞれの団体の繋がりをセンター長が担ってスタートしたばかりで、小学校の授業を援助する人を集めたり、学校へ行行って片付けしたり、今度は地元自治会で草取りをしたりとか、そういうことに協力できるよう、この地区では変わってきていますね。

委員 それをきっかけに広がっていくと思うけれど、せっかくここに「市民センターにおいては地域コミュニティ活動の拠点として」って書いてあるけど、この負担がみんなセンター長にいったら可哀相だね。

議長 でも、市としては、市民センターがそういう役目を持ちなさいってなっている。

委員 どこまでできるかは別として、これがまずコアなんじゃないかと。鯉淵地区はモデルになっているので。そうだね。

議 長 昨年ですかね。今年ですかね。小学校の防火訓練に住民の会でも何人か消防団の人にも声をかけてお手伝いに出ましたけど、これからもそういう時期になるので、またお手伝いすることがあれば地区会でも子どもたちと一緒に訓練したいなと思っています。

委 員 この取組はそれぞれの団体にメリットがあるからね。

議 長 ありがとうございます。時間も限りがあるでしょうから、(2)について、承認することとしてよろしいでしょうか。

委 員 (「異議なし」との声)

議 長 異議なしと認め、(2)について承認します。
次に、(3)その他について事務局の説明をお願いします。

執行機関 ((3)その他(地域学校協働活動)について説明)

議 長 ただいまの説明について、委員の皆様からの質疑を求めます。

委 員 水戸市としてもモデルになる地域になり得るよね。

議 長 鯉淵地区はスタートダッシュで動きだしましたから。

委 員 ____委員に質問があるのですが、地域教養とか学校改革とか色々進んでいると思いますけど、教員の働き方改革も含め、それで、子どもたちは勉強できるようになりましたか。

委 員 勉強できるようになるということが、点数が上がるとかの視点でいきますと、授業の中で子どもがすごく意欲が出るというような、落ち着いて学校生活を過ごすところではかなり改善されるようになってきています。その先にまだ子どもたちの意欲が継続していったって、家庭学習にも生きてくる状況になるとそういうこと(勉強ができるようになる)に到達していけるのかなと、授業の中の子どもの学び姿はかなり良い方向に向かっているのは、皆様のお陰だと思っています。子どもたちは何より観ていただくのが一番喜ぶますので、是非地域の皆さん、お仲間を連れていつでも、学校の様子を遠慮なく観に来ていただけると幸いです。特に連絡なくても大丈夫でございます。

委 員 先生になりたいっていう子どもたちは増えましたか。

委 員 そのことに関しては、まだマスコミには勝てませんね。あそこまでやられてしまいますと。でも個別に子どもたちと何かをした時に「あ、いいこと言うなあ。先生になって欲しいなあ。いい先生になるだろうなあ。」という刷り込みはしているのですが、なかなか中学生・高校生とか年齢が上がってくると、ちょっと引いてしまう子が多いのが現実ですね。一番苦しいのは教育学部に行っても、教員試験は受けないというような厳しい状況があるので、そんな心配事を一人で背負わせることはないし、職員皆でやるし、こうやって地域の皆さんも一緒に協力してくれるんだよと学校としては発信していけばと思います。

委 員 子どもたちの描くアンケートをやると、先生の姿を見るというのがやっぱり出てくるよね。先生が落ち着いてきちんと対応してくれるというのが、一番子どもたちの望

むことだよね。

委員 ある意味教員って他のどの職業よりも本当は一番なりたい職業に近いわけじゃないですか。これだけ身近な職業だから。その中でちょっと子どもたちにとって魅力的なものになっていないということを我々も受け止めて、でもその所見ばかりではなく、「やっぱりこの先生みたいになってみたいなあ。」っていう所見もあるのは間違いないので、そういったところを我々も考えて進めていければいいかなと思っています。

委員 働き方改革で余裕を持った先生が余裕を持って子どもを教えると、余裕のある子どもが育つと思うけれど。そのためには地域コミュニティの再構築が一番必要だと思います。だからセンター長の負担が増えないかって。

議長 それはね、家庭の問題であって親子で余裕がなく、生活でいっぱい、だから学校にお願いするしかなくなっているからそういうことが起きている。

委員 でもみんな余裕ないですよ。両親とも働いていると時間的余裕もないし、時間に余裕がないと気持ちも余裕がない。

議長 子ども自身もね。学校から帰ったら習い事に行って塾に行って、それで一日終わってしまうでしょう。だから子どもたちも伸び伸びではなくなってきた。疲れ果てている。

委員 家に帰ると金のない話ばかりされる。

委員 やっぱり子どもから憧れられる先生ってすごく大事ですよ。親御さんはまた違う角度で見るから満点ではなくても、子どもが憧れている先生はやはり素晴らしい。

その他にもいろいろ問題はあるみたいだけど、一番の問題は子どもを含めた地域コミュニティの再構築だから、やっぱりセンター長に少し考えてもらって。

執行機関 今年度定期講座で鯉淵子ども太鼓教室を開講させていただいたのですが、地元で長年続いた保存会がありますが、その後継者が育っていないとお聞きして、これだけ歴史のある保存会を無くすわけにはいけないと思いました。受講する子どもさんたちは、今年 21 名こちらで学んでいただいています。1年生から6年生まで学年もバラバラですが、その親御さんたち同士のお付き合いや、子どもたちの縦の繋がりができると良いと考えています。鯉淵地区という枠ですけれども、子ども会などが少なくなっている中では、そういったお付き合いが結びつくことによって、少しずつその子たちを中心に将来的に人的交流ができ、その子たちが何名でも地区に残っていただいて、またここで子育てができる年代になれば地域コミュニティにも役に立っていくのではないかと考えております。また来年から参加者が増えていくことを期待しています。活発な教室活動を開催して一定の技量を身に着けた子どもたちが発表できるような場を地区の方でも作っていただければ地元の伝統芸能活動が地域活性化にも繋がっていくと思っております。

議長 はい。ありがとうございました。それでは(3)その他について、承認することとしてよろしいでしょうか。

委員 (「異議なし」との声)

議 長 異議なしと認め、(3)について承認します。本日予定された協議事項は以上となります。事務局へ進行を返します。

(閉会)

執行機関 以上で、令和6年度第1回水戸市鯉淵市民センター運営審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。